

2008年3月期 第1四半期 財務・業績の概況 添付資料

(決算 / JT International・Gallaher社 統合計画 説明会資料)

2007年8月9日



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げるができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

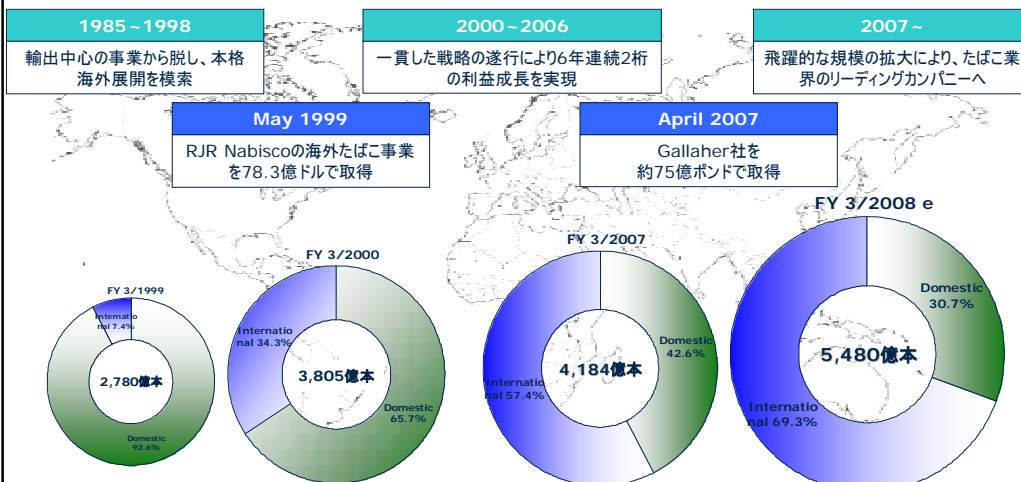
- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



JT Internationalと Gallaher社の統合がもたらすもの



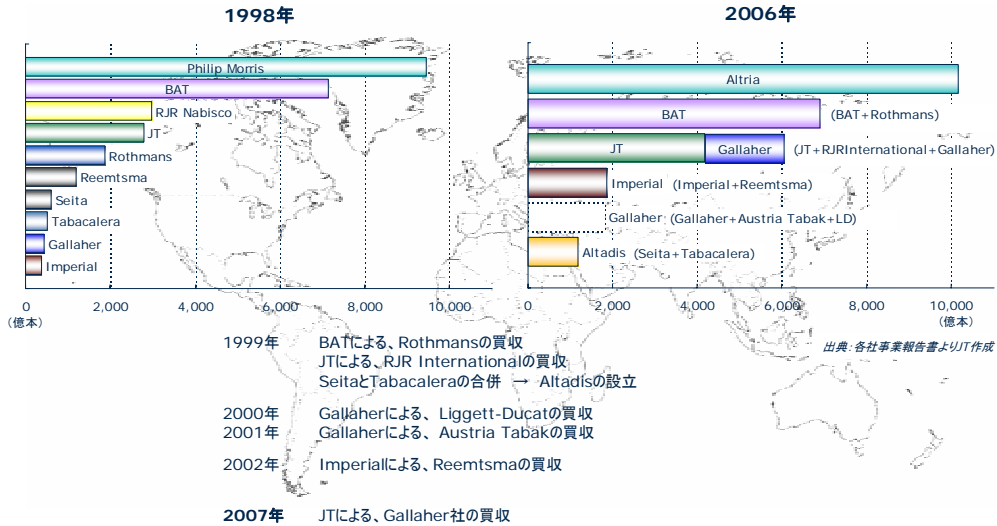
海外たばこ事業成長の軌跡



注) 海外たばこ事業の2008年3月期の見込は旧JT1の2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分



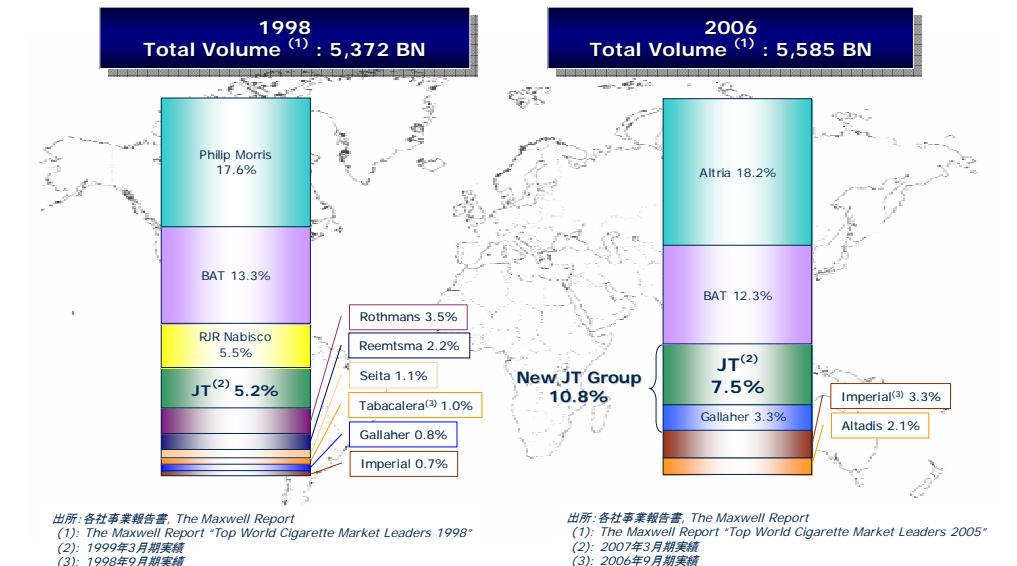
グローバル・シガレットメーカーの再編



5



主要たばこ企業の世界シェア



6



統合効果の最大化に向けて

■ 統合計画の策定

- ◆ 買収完了時に新経営陣を公表
- ◆ 統合委員会を中心に、約50の統合プロジェクトを発足
- ◆ 策定期間は約100日、RJR International買収時(約8ヶ月)から大幅に短縮

■ 統合シナジー

- ◆ コストダウンシナジーは、2010年に3億USドルを超える
- ◆ トップラインシナジーは、2010年に少なくとも1億USドルを創出、将来的にはコストダウンシナジーを凌駕する規模を目指す

7



新JTIの役割とフォーカス

新JTIは以下の項目に注力:

JTグループの利益成長の牽引役としての役割を更に拡大

トップライン成長の機会を追求

統合計画の迅速な実行

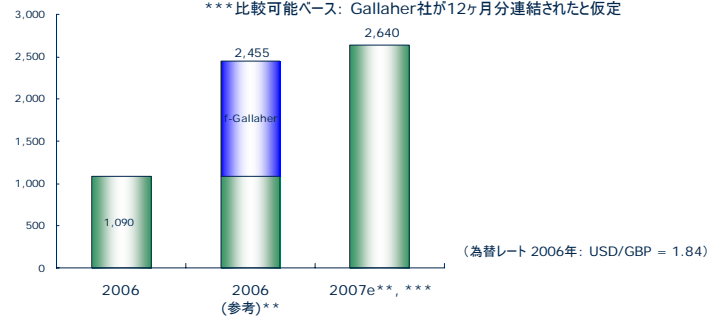
8



持続的成長に向けて

■ JTIのEBITDA*成長

(百万USD)



Gallaher社の統合を早期に実行し、年率10%を超えるEBITDA成長を目指す

■ 2008年3月期 全社業績予想は大幅な増収・増益を見込む

2008年3月期 第1四半期実績

2008年3月期 第1四半期実績

■ 業績ハイライト

- ◆ 国内たばこ事業において、前年同期に増税前の駆け込み需要が発生していたことにより、減収・減益となるも、中期経営計画「JT2008」の実現に向けた施策は着実に推進

(単位: 億円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期	増減
税込売上高	12,895	12,197	△ 698 (5.4%減)
税抜売上高	5,445	5,262	△ 182 (3.3%減)
EBITDA	1,341	1,266	△ 75 (5.6%減)
営業利益	1,020	933	△ 87 (8.6%減)
経常利益	1,035	924	△ 110 (10.6%減)
四半期純利益	762	646	△ 116 (15.2%減)

11



2008年3月期 第1四半期実績

■ 国内たばこ事業

前年同期に増税前の駆け込み需要が発生したことにより、減収・減益

(単位: 億円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期	増減
税抜売上高	3,387	2,855	△ 531 (15.7%減)
EBITDA	1,010	826	△ 183 (18.2%減)
営業利益	815	624	△ 191 (23.5%減)

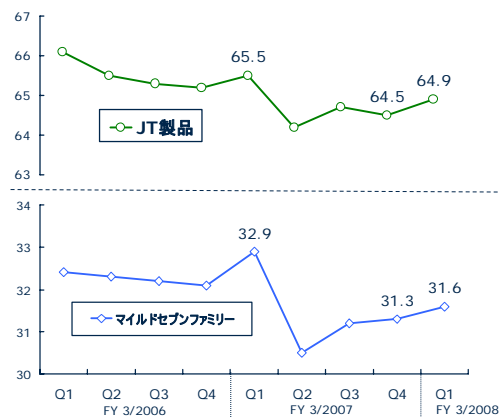
(単位: 億本)

JT製品販売数量	540	427	△ 113 (21.0%減)
----------	-----	-----	-------------------

■ JT製品の市場シェア ※

※ 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウイinston・セーラム等)

(%)



12



2008年3月期 第1四半期実績

海外たばこ事業

トップライン成長を主因に、EBITDAは前年度同期比41.0%増

(単位:億円)

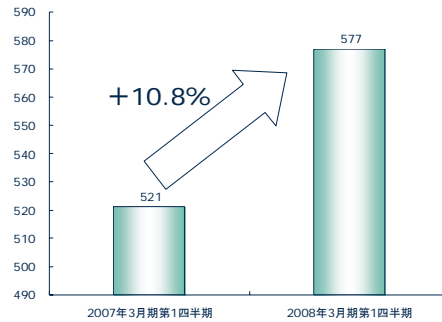
	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期	増減
税抜売上高	1,190	1,502	311 (26.2%増)
EBITDA	259	379	119 (45.9%増)
営業利益	185	294	109 (59.0%増)

円ドルレート(円)	116.98	119.45	2.47
-----------	--------	--------	------

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位:百万USD)

	249	351	102 (41.0%増)
EBITDA			

海外たばこ事業における総販売数量 (単位:億本)



(注) 海外たばこ事業実績は2007年1-3月期を連結



2008年3月期 第1四半期実績

医薬事業

前年同期には導出に伴う一時的収入があったこと、研究開発費の増加等により、減益

(単位:億円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期	増減
売上高	117	112	△ 5 (4.8%減)
EBITDA	△ 12	△ 21	△ 8 -
営業利益	△ 20	△ 29	△ 9 -

臨床開発品目 (2007年8月9日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705 (経口)	脂質代謝異常	国内:Phase1
JTT-130 (経口)	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303 (経口)	HIV	国内:Phase1
JTT-302 (経口)	脂質代謝異常	海外:Phase2
JTT-305 (経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-552 (経口)	高尿酸血症	国内:Phase1
JTT-553 (経口)	肥満症	海外:Phase1
JTT-651 (経口)	2型糖尿病	国内:Phase1

肥満症治療薬「JTT-553」の海外臨床入り

糖尿病治療薬「JTT-651」の国内臨床入り



2008年3月期 第1四半期実績

※ 食品事業

飲料、加工食品両事業の事業量拡大により増収も、経費の増加等により、減益

(単位:億円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期	増減
売上高	702	739	36 (5.2%増)
EBITDA	35	25	△ 10 (28.9%減)
営業利益	19	13	△ 5 (26.8%減)



ルーツ「アロマブラックボトル」



「お弁当大人気！」シリーズ
「ミニ春巻」

15



2008年3月期業績予想



2008年3月期 業績予想

海外たばこ事業

Gallaher社の当期業績予想への貢献は、約8.5ヶ月分

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 当初見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	当初見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	9,996	11,300	26,500	15,200 (134.5%増)	16,503 (165.1%増)
EBITDA	1,126	1,270	2,520	1,250 (98.4%増)	1,393 (123.7%増)
営業利益	810	960	2,030	1,070 (111.5%増)	1,219 (150.4%増)

(参考)

(単位: 百万USドル)

EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)	1,090	1,250	2,250	1,000 (80.0%増)	1,160 (106.4%増)
----------------------------	-------	-------	-------	-------------------	--------------------

【主な前提条件】

総販売数量(億本)	2,401	2,580	3,800	1,220 (47.3%増)	1,399 (58.3%増)
GFB販売数量(億本)	1,468	-	2,020	-	552 (37.6%増)
円ドルレート(円/USドル)	116.38	115.00	120.00	5.00	3.62

注1) 海外たばこ事業の当初見込は旧JT1の2007年1-12月期の見込、修正見込は旧JT1の2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分

注2) 今回の業績予想にはGallaher社の買収に伴い発生する商標権等の償却は織り込んでいない。また、今回の業績予想は買収会計の結果により、修正される可能性がある。

注3) 2007年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven

2008年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

17



Gallaher社買収に伴う“のれん”及び商標権について

基本的な考え方

$$\text{“のれん”} = \text{買収価格} - (\text{有形資産} + \text{無形資産} - \text{負債})$$

(約75億ポンド) (現在公正価格を算定中)

商標権等を含む
統合費用を含む

- ◆ “のれん”の償却: 2009年3月期より開始、20年償却を予定
加えて、2009年3月期より、RJRI社買収に伴う“のれん”の償却を再開
- ◆ 商標権等の償却: 2008年3月期より開始、償却年数については個々に検討中
Gallaher社の固有ブランド等の償却年数および公正価値については中間決算までに算定

連結B/Sへの反映

- ◆ 中間決算発表時(海外たばこ事業は6月末時点を連結)に暫定値を公表

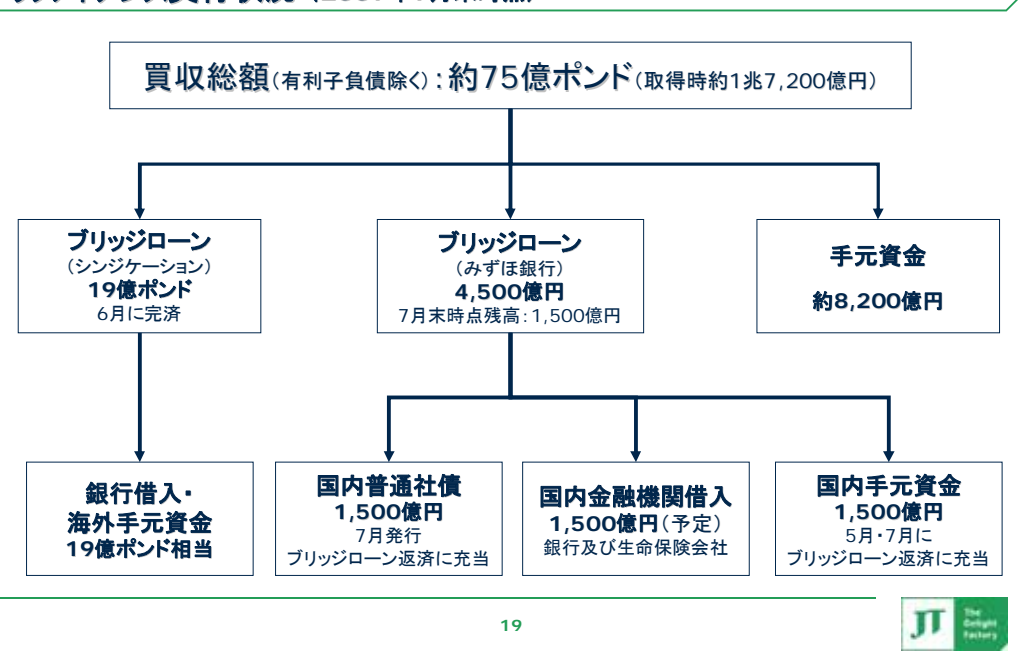
連結配当性向について

- ◆ Gallaher社及びRJRI買収に伴う“のれん”の償却を除くベースで20%を目指す

18



リファイナンス実行状況 (2007年7月末時点)



2008年3月期 業績予想

■ 連結業績予想

海外たばこの業績予想の修正により、大幅な増収・増益を見込む

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 当初見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	当初見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	47,693	48,900	64,100	15,200 (31.1%増)	16,406 (34.4%増)
EBITDA	4,646	4,490	5,740	1,250 (27.8%増)	1,093 (23.5%増)
営業利益	3,319	3,120	4,190	1,070 (34.3%増)	870 (26.2%増)
経常利益	3,120	2,820	3,820	1,000 (35.5%増)	699 (22.4%増)
当期純利益	2,107	1,860	2,560	700 (37.6%増)	452 (21.5%増)

注1) 海外たばこ事業の当初見込は旧JTの2007年1-12月期の見込、修正見込は旧JTの2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分

注2) 今回の業績予想にはGallaher社の買収に伴い発生する商標権等の償却は織り込んでいない。また、今回の業績予想は買収会計の結果により、修正される可能性がある

JT International ・ Gallaher社 統合計画



更なるトップライン成長を目指して



新JTIの役割とフォーカス

新JTIは以下の項目に注力:

JTIグループの利益成長の牽引役としての役割を更に拡大

トップライン成長の機会を探求

統合計画の迅速な実行

《新JTIの基本戦略》

- # 卓越したブランドの構築および育成
- # 生産性の向上
- # 成功を支える人材の育成
- # 責任ある企業活動
- # 全ての活動における継続的な改善

23



新たなグローバル・フラッグシップ・ブランド・ポートフォリオ

トップライン成長の機会

Engine



Stronghold



Future Potential



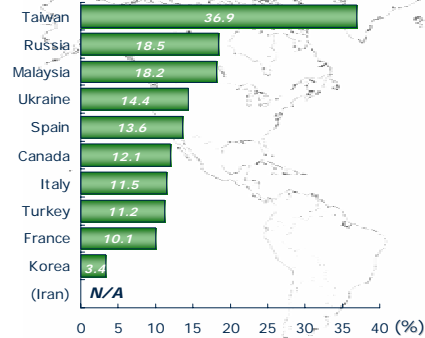
2006年 総販売数量の約50%

24



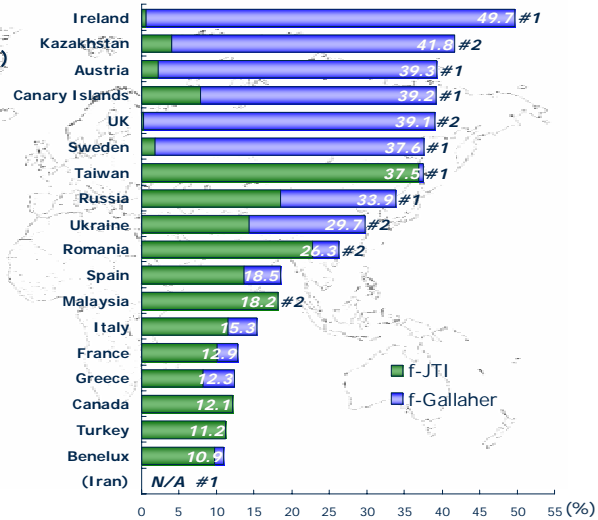
成長に向けた事業基盤の拡充

■ 旧JTI 中核11市場の市場シェア (2006年)



出典: AC Nielsen, JTI

■ 新JTI 主要市場シェア (2006年)

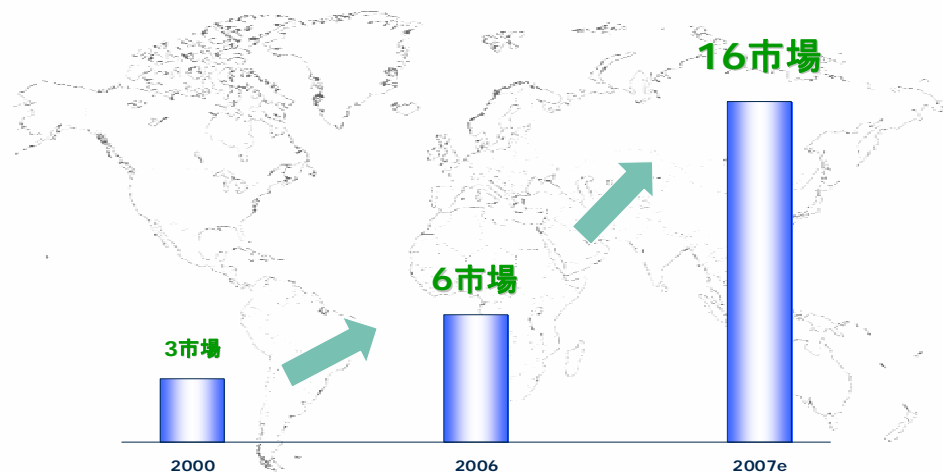


25



成長に向けた事業基盤の拡充

■ EBITAが5,000万USドル以上の市場数



26



シナジー効果

■ コストダウンシナジーは、2010年に3億USドルを超える

- ◆ 本社機能の統合
- ◆ 製造拠点及び原材料調達の最適化
- ◆ 流通・営業販売組織の効率化

■ トップラインシナジーは、2010年に少なくとも1億USドルを創出、将来的にはコストダウンシナジーを凌駕する規模を目指す

- ◆ 強力でバランスのとれたブランド・ポートフォリオ
- ◆ 地理的拡充
- ◆ 市場内相互補完によるカバレッジ向上

27



業績予想

■ 2007年業績予想

	2006	2007	Change	
Volume	2,401	3,800	1,399	58.3%
GFB Volume	1,468	2,020	552	37.6%
(億本)				
Net Sales before tax	8,590	22,100	13,510	157.3%
Net Sales after tax	4,729	9,000	4,271	90.3%
EBITDA*	1,090	2,250	1,160	106.4%
(百万USドル)				

注1) Callaheer社の当期業績への貢献は約8.5ヶ月分

注2) 今回の業績予想は買収会計の結果により修正される可能性がある

注3) 2006年GFB: Winston, Camel, Mild Seven

2007年GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

■ 今後3年間(2008-2010)のEBITDA*は、年平均10%を超える成長を目指す

(参考) 2007年業績予想(比較可能ベース)

総販売数量: 4,250億本、EBITDA*: 2,640百万USドル**

(比較可能ベース: Callaheer社が12ヶ月分連結されたと仮定)

* EBITDAはJTへのロイヤリティー支払い前

** USGAAP/IFRSによる単純合算値

28



【参考資料】

2008年3月期 第1四半期実績 および 2008年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

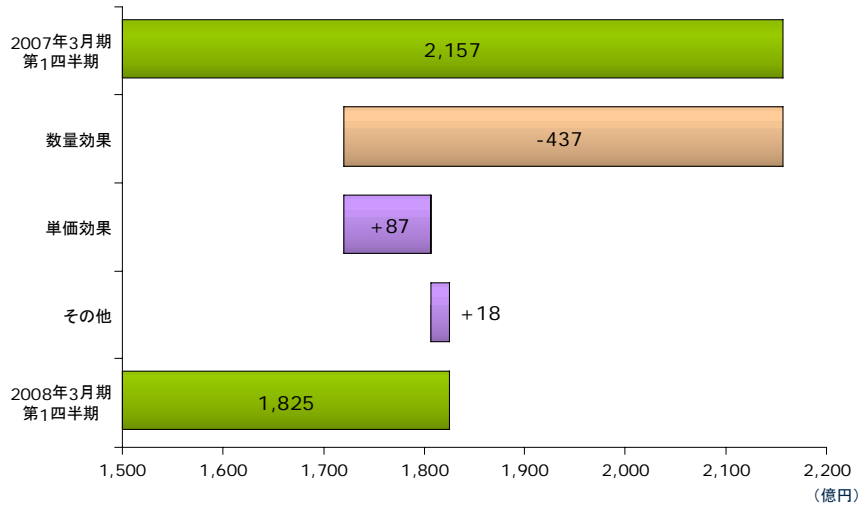
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げるができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2008年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

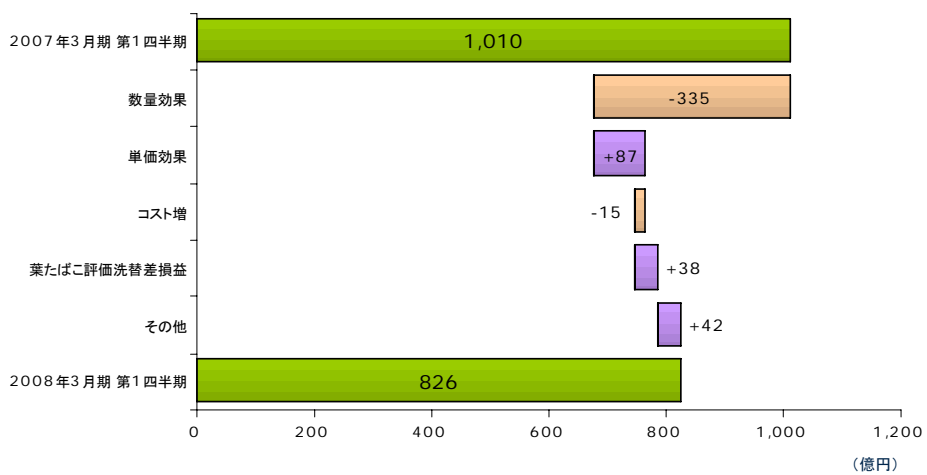


31



2008年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

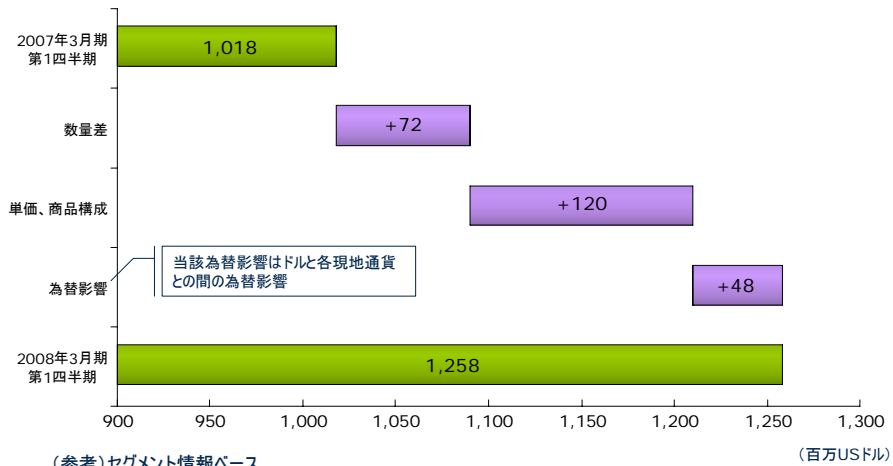


32



2008年3月期 第1四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高

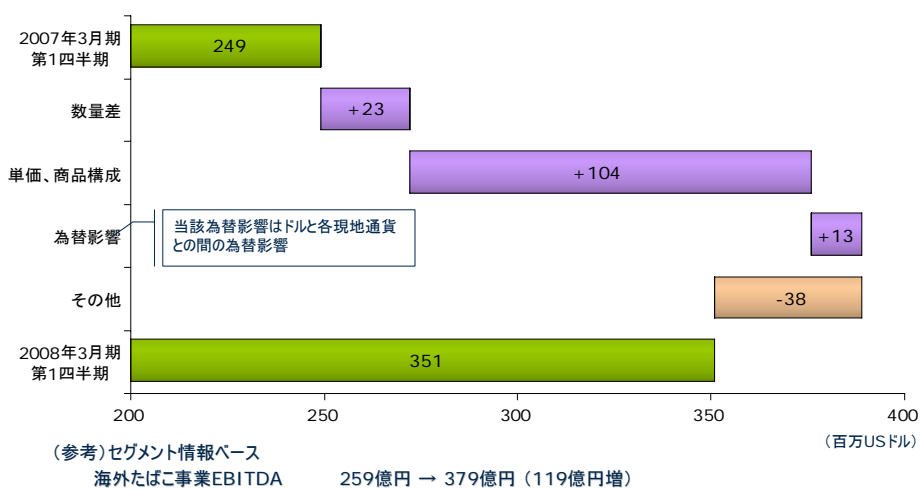


33



2008年3月期 第1四半期 実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

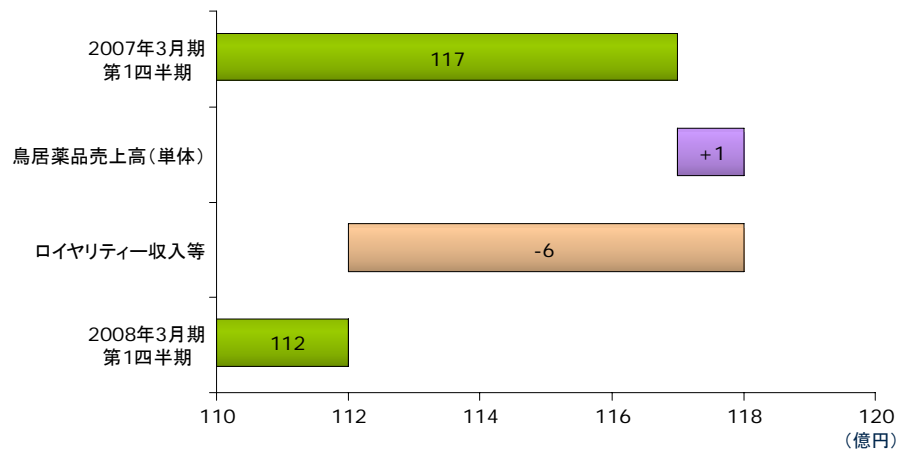


34



2008年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 売上高

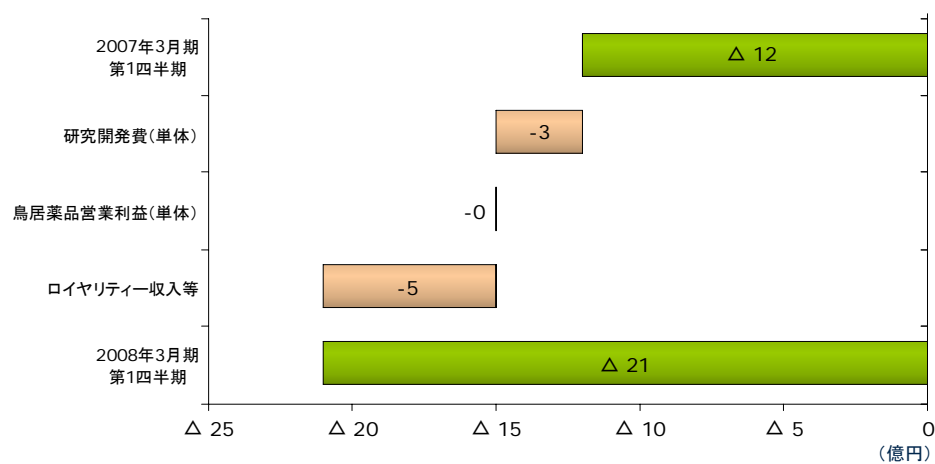


35



2008年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 EBITDA

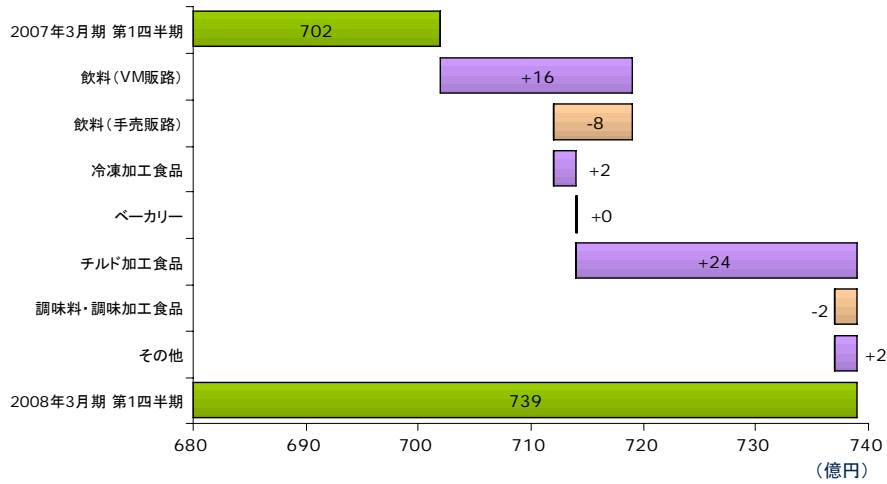


36



2008年3月期 第1四半期 実績

食品事業 売上高

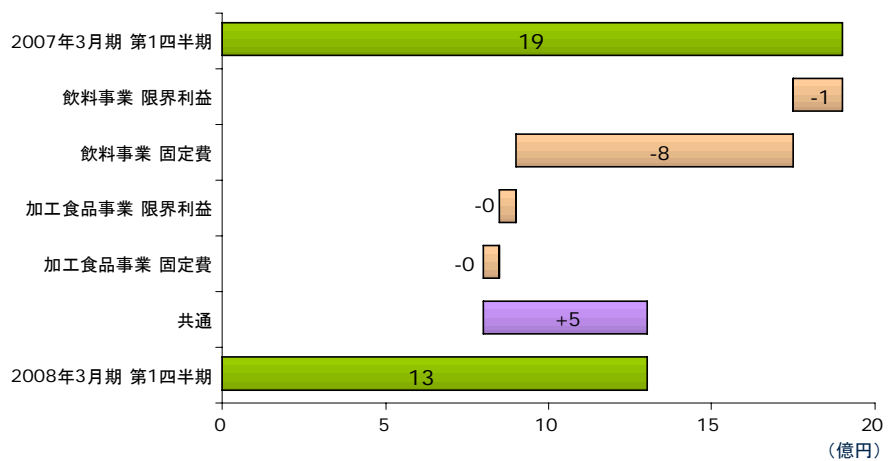


37



2008年3月期 第1四半期 実績

食品事業 営業利益

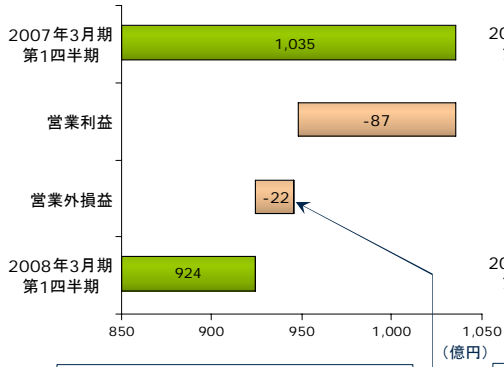


38



2008年3月期 第1四半期 実績

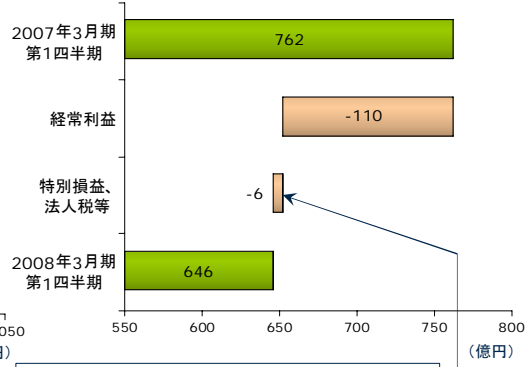
■ 経常利益



改善要因: 受取利息の増: 21億円
受取配当金の増: 17億円 等

悪化要因: 支払利息の増: 12億円
為替差益の減: 14億円
為替差損の増: 31億円 等

■ 当期純利益



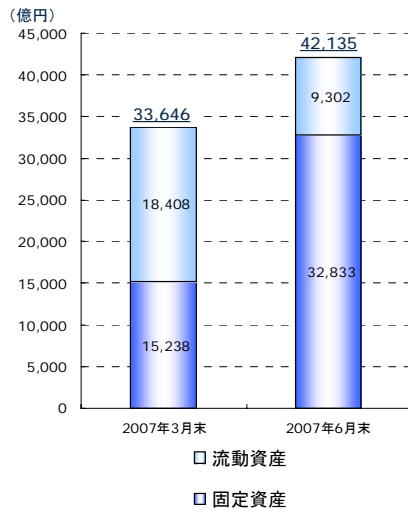
改善要因: 固定資産除却損の減: 12億円
減損損失の減: 7億円
法人税等の減: 134億円 等

悪化要因: 固定資産売却益の減: 162億円
成人識別自販機導入費用の増: 2億円 等

(このスライドは空白です)

2008年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部



2007年3月末との比較 ()内は主な要因

■ 流動資産は9,105億円減少

- ◆ 手元流動性*の減少 △9,376億円
*手元流動性=現預金+有価証券+現先
- ◆ 営業債権*の増加 +171億円
*営業債権=受取手形及び売掛金

■ 固定資産は1兆7,594億円増加

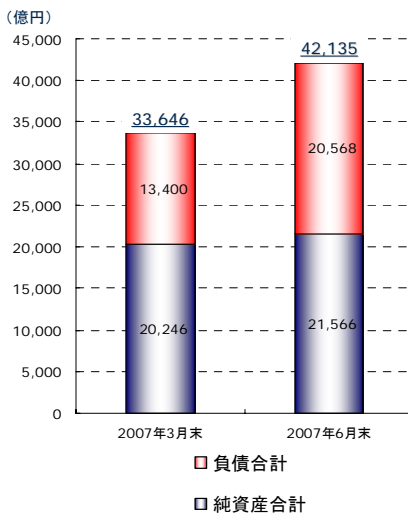
- ◆ 設備投資による増加 +264億円
- ◆ 減価償却*による減少 △332億円
*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費
- ◆ 投資有価証券の減(費目変更) △1,545億円
- ◆ 非連結子会社株式及び関連会社株式の増(Gallaher社買収) +1兆9,252億円

41



2008年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部



2007年3月末との比較 ()内は主な要因

■ 負債合計は7,168億円増加

- ◆ 有利子負債*の増加 +7,637億円
*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等*の増加 +225億円
*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

■ 純資産合計は1,320億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 +435億円
- ◆ 為替換算調整勘定の増加 +997億円

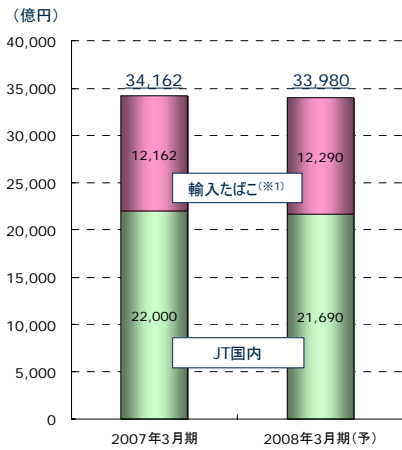
➢ 自己資本比率 **58.3% → 49.6%**

42



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】

- ・輸入たばこの増: 127億円
- ・増税に伴う定価改定によるJT製品の税込単価増(4-6月期)

【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減
[1,749億本 → 1,680億本: Δ69億本]

※1 連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいます。
 ※2 今期の見込みに修正はありません。

43



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

- ・単価アップ: 約110億円

【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減(Δ69億本): 約210億円
- ・コスト増、その他: 約110億円
- ・葉たばこ評価洗替差損益*: 54億円
[95億円(益) → 41億円(益)]

* 2007年3月期をもって、評価替処理を廃止し、同期末における評価損を2008年3月期以降、3年間に亘って均等額を戻し入れる処理を行う予定。2008年3月期からは、低価法を適用する予定。

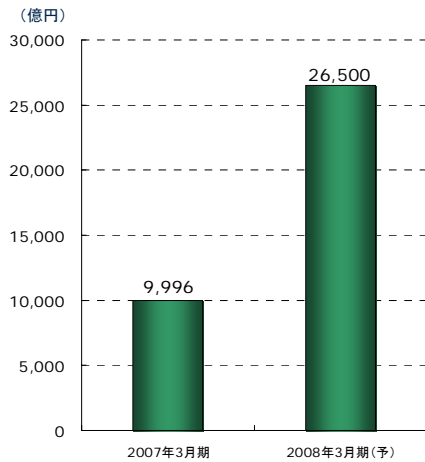
※ 今期の見込みに修正はありません。

44



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】

- ・Gallaher社の新規連結
- ・成熟・新興双方市場でのバランスの取れたトップライン成長

(参考) 連結円ドルレート 116.38円 → 120.00円 (3.62円安)

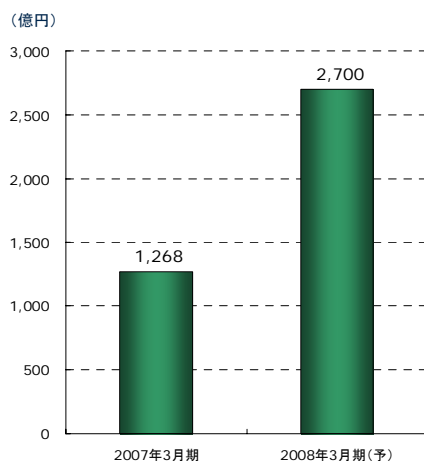
注) 海外たばこ事業の見込は旧JTIの2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分

45



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



【主な増加要因】

- ・Gallaher社の新規連結
- ・成熟・新興双方市場でのバランスの取れたトップライン成長

(参考) セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA	1,126億円 → 2,520億円 (1,393億円増)
海外たばこ事業営業利益	810億円 → 2,030億円 (1,219億円増)
連結円ドルレート	116.38円 → 120.00円 (3.62円安)

注1) 海外たばこ事業の見込は旧JTIの2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分

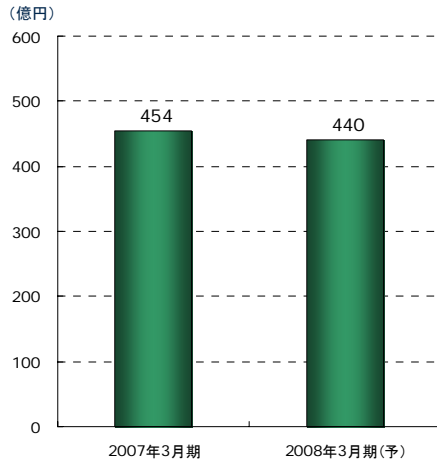
注2) 今回の業績予想にはGallaher社の買収に伴い発生する商標権等の償却は織り込んでいない。また、今回の業績予想は買収会計の結果により、修正される可能性がある。

46



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 売上高



【主な増加要因】

・鳥居薬品の売上高: 395億円→403億円 (+7億円)

【主な減少要因】

・'07年3月期: グラクソ・スミスクライン社への新規化合物の導出、
メディムーン社への抗体医薬候補品の導出等に伴う一時的収入
・ピラセプトロイヤリティの減

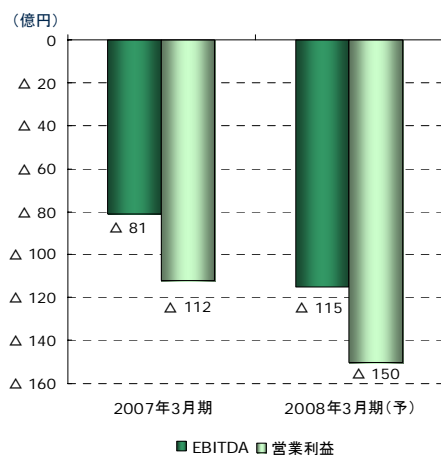
※ 今期の見込みに修正はありません。

47



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

・鳥居薬品の営業利益: 53億円→56億円 (+2億円)

【主な減少要因】

・'07年3月期: グラクソ・スミスクライン社への新規化合物の導出、
メディムーン社への抗体医薬候補品の導出等に伴う一時的収入
・ピラセプトロイヤリティの減
・研究開発費の増

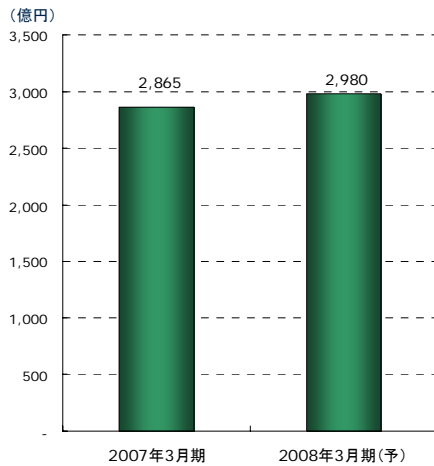
※ 今期の見込みに修正はありません。

48



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高



【主な増加要因】

- ・飲料事業における自動販売機販路の着実な伸長
- ・冷凍加工食品における差別性ある商品の開発・投入
- ・ベーカリーの伸長

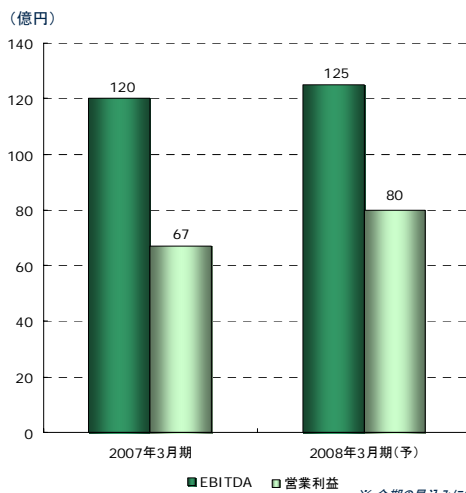
※ 今期の見込みに修正はありません。

49



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

- ・売上の増加に伴う限界利益増
- ・のれん償却費(JB関連)の減

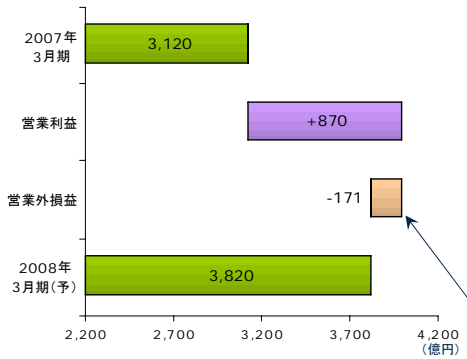
※ 今期の見込みに修正はありません。

50



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

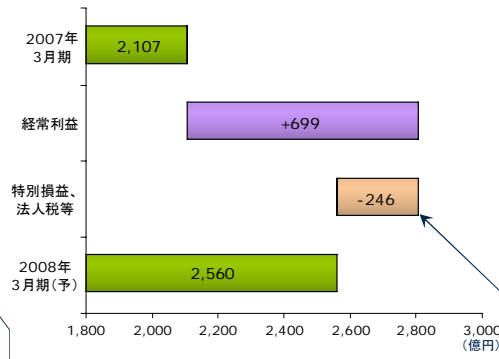
経常利益



改善要因: Gallaher社の買収に関連した為替ヘッジ
ブリッジローン組成費用の減少 等

悪化要因: Gallaher社の買収に関連した支払利息の増加
受取利息の減少
Gallaher社の既存負債に関する支払利息の増加 等

当期純利益



改善要因: 法人税等の減少 等

悪化要因: 固定資産除売却損益の減少
成人識別自販機導入費用の増加
事業統合費用の発生 等

注1) 海外たばこ事業の見込みは旧JTIの2007年1-12月期及びGallaher社の約8.5ヶ月分

注2) 今回の業績予想にはGallaher社の買収に伴い発生する商標権等の償却は織り込んでいない。また、今回の業績予想は買収会計の結果により、修正される可能性がある。

2007年4-6月期 決算データ集 (1)

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
全社税込売上高	12,895	12,197	△ 698
国内たばこ事業	9,852	8,567	△ 1,284
除く輸入たばこ	6,394	5,529	△ 864
海外たばこ事業 ^(注)	2,175	2,725	549
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	4,216	4,233	17
国内たばこ事業	2,157	1,825	△ 332
海外たばこ事業 ^(注)	1,190	1,502	311
医薬事業	117	112	△ 5
食品事業	702	739	36
飲料事業	475	483	8
加工食品事業	227	255	28
その他事業	46	53	6

(注) 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	28	△ 10	△ 38

(注) マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
販売費及び一般管理費	1,382	1,454	71
人件費 ^(注)	378	414	36
広告宣伝費	47	43	△ 4
販売促進費	267	303	35
研究開発費	100	102	1
減価償却費	142	141	△ 1
その他	446	449	3

(注) 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
全社EBITDA	1,341	1,266	△ 75
営業利益	1,020	933	△ 87
減価償却費 ^(注2)	320	332	11
国内たばこ事業EBITDA	1,010	826	△ 183
営業利益	815	624	△ 191
減価償却費 ^(注2)	194	202	7
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	259	379	119
営業利益	185	294	109
減価償却費 ^(注2)	74	84	9
医薬事業EBITDA	△ 12	△ 21	△ 8
営業利益	△ 20	△ 29	△ 9
減価償却費 ^(注2)	7	7	0
食品事業EBITDA	35	25	△ 10
営業利益	19	13	△ 5
減価償却費 ^(注2)	16	11	△ 5
その他事業EBITDA	49	61	12
営業利益	19	31	12
減価償却費 ^(注2)	29	29	0

(参考)

(単位: 百万ドル)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	249	351	102

(注1) EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2) 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3) 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	86	81	-	-
商標権(JT保有分)	73	73	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	10	4	8年	07年4月
のれん ^(注)	2	2	20年	25年3月

(注) USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額のもの償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。
なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該のれんの一部について、20年で償却を開始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
資本的支出	205	264	59
国内たばこ事業	102	155	52
海外たばこ事業 ^(注)	57	68	10
医薬事業	7	3	△ 3
食品事業	14	12	△ 1
その他事業	24	29	4

(注) 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

7. 手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	07年3月末	07年6月末	増減
手元流動性	11,856	2,480	△ 9,376

(注) 手元流動性=現預金+有価証券+現金

8. 有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	07年3月末	07年6月末	増減
有利子負債	2,192	9,830	7,637

(注) 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
JT販売数量 ^(注)	540	427	△ 113 億本
国内総需要	826	658	△ 167 億本
JT販売数量シェア	65.5%	64.9%	△ 0.6%pt
JT千本当税込売上高	11,663	12,698	1,035 円
JT千本当税抜売上高	3,852	4,056	204 円
【海外たばこ事業】	06年1-3月期	07年1-3月期	増減
販売数量	521	577	56 億本
連結円ドルレート	116.98	119.45	2.47 円
【医薬事業】	06年4-6月期	07年4-6月期	増減
研究開発費(単体)	52	55	3 億円
【食品事業-飲料事業】	07年3月末	07年6月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	250,500	253,000	2,500 台
うちマーキング機	38,000	37,000	△ 1,000 台
うちコンビニ	66,000	68,000	2,000 台

(注) JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年4-6月期8億本、2007年4-6月期8億本。
(注) 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2007年4-6月期 決算データ集(2)

1. 2008年3月期連結業績予想(当初見込比較)

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高	48,900	64,100	15,200
除く輸入たばこ	36,610	51,810	15,200
EBITDA	4,490	5,740	1,250
営業利益	3,120	4,190	1,070
経常利益	2,820	3,820	1,000
当期純利益	1,860	2,560	700
ROE(株主資本利益率)	9.3%	12.2%	2.9%pt

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
資本的支出	1,260	1,460	200
国内たばこ事業	640	640	0
海外たばこ事業	350	550	200
医薬事業	30	30	0
食品事業	65	65	0
その他事業	170	170	0

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高	48,900	64,100	15,200
国内たばこ事業	33,980	33,980	0
除く輸入たばこ	21,690	21,690	0
海外たばこ事業	11,300	26,500	15,200
医薬事業	440	440	0
食品事業	2,980	2,980	0
EBITDA	4,490	5,740	1,250
国内たばこ事業	3,000	3,000	0
海外たばこ事業	1,270	2,520	1,250
医薬事業	△ 115	△ 115	0
食品事業	125	125	0
営業利益	3,120	4,190	1,070
国内たばこ事業	2,130	2,130	0
海外たばこ事業	960	2,030	1,070
医薬事業	△ 150	△ 150	0
食品事業	80	80	0

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業 (単位:億本)

	当初見込	今回見込	増減
販売数量	1,680	1,680	0

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業 (単位:億本、円)

	当初見込	今回見込	増減
販売数量	2,580	3,800	1,220
GFB販売数量 ^(注)	-	2,020	-
1USD円	115.00	120.00	5.00

(注) 08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

2. 2008年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	64,100	16,406
除く輸入たばこ	35,531	51,810	16,278
EBITDA	4,646	5,740	1,093
営業利益	3,319	4,190	870
経常利益	3,120	3,820	699
当期純利益	2,107	2,560	452
ROE(株主資本利益率)	11.3%	12.2%	0.9%pt

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,021	1,460	438
国内たばこ事業	552	640	87
海外たばこ事業	320	550	229
医薬事業	30	30	0
食品事業	48	65	16
その他事業	80	170	89

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	64,100	16,406
国内たばこ事業	34,162	33,980	△ 182
除く輸入たばこ	22,000	21,690	△ 310
海外たばこ事業	9,996	26,500	16,503
医薬事業	454	440	△ 14
食品事業	2,865	2,980	114
EBITDA	4,646	5,740	1,093
国内たばこ事業	3,264	3,000	△ 264
海外たばこ事業	1,126	2,520	1,393
医薬事業	△ 81	△ 115	△ 33
食品事業	120	125	4
営業利益	3,319	4,190	870
国内たばこ事業	2,453	2,130	△ 323
海外たばこ事業	810	2,030	1,219
医薬事業	△ 112	△ 150	△ 37
食品事業	67	80	12

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業 (単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,749	1,680	△ 69

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業 (単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	2,401	3,800	1,399
GFB販売数量 ^(注)	1,468	2,020	552
1USD円	116.38	120.00	3.62

(注) 07年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven

08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427				

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367				

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698				

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056				

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9				

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0				

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2				

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9				

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6				

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5				

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41				

* ビアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、ペヴェル・フリアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2007年8月9日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-553 (経口)	海外：Phase1	肥満症	DGAT1（ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ1）阻害	トリグリセリドの合成に関わる酵素であるDGAT1を阻害することにより、小腸からの脂肪の吸収及び脂肪組織での脂肪の蓄積を抑制する肥満症治療薬	
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GP（グリコーゲンホスホリラーゼ）阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	

前回（2007年4月27日）公表時からの変更点：JTT-551の開発中止

JTT-553の海外臨床入り

JTT-651の国内臨床入り